

ココ、
たぎる。



B.LEAGUE 2022-23 SEASON REPORT

2022.09.29 THU -2023.05.28 SUN

JAPAN PROFESSIONAL BASKETBALL LEAGUE



「ココロ、たぎる。」

というパーパスを新たに策定したB.LEAGUE 2022-23 SEASON。
新型コロナウイルス感染症の影響を最も受けた昨シーズンとは変わり、
様々な面でコロナ前を超えるシーズンとなりました。
2021年に中止となった水戸でのオールスターゲームは無事に開催され、
そこで遂に声出し応援も解禁、
アリーナにはファンの方々の熱い声援が戻ってきました。
レギュラーシーズンにおいては、
クラブ主管試合では過去最高の入場者数となる9,555名を記録。
また、日本生命 B.LEAGUE FINALS 2022-23 GAME2の
13,657名の入場者数も過去最高となりました。
レギュラーシーズン通しての入場者数は3,049,415名となり、
B.LEAGUE開幕以降初めて300万人を突破。
声援と共に、アリーナにファンが戻ってきたシーズンとなりました。



B.LEAGUE 2022-23 SEASON REPORT

INDEX

MESSAGE	P03
BLEAGUE 2022-23 SEASON CALENDAR	P04
THE NUMBER OF ATTENDANCE	P05-P06
B.LEAGUE SNS	P06
B.LEAGUE CLUB SNS	P07
B1 RESULT	P08
B2 RESULT	P09
B.LEAGUE 2022-23 SEASON CLUB AWARD	P10
日本生命 B.LEAGUE CHAMPIONSHIP 2022-23	P11
日本生命 B2 PLAYOFFS 2022-23	P12
B1 LEADERS	P13
B2 LEADERS	P14
B.LEAGUE 2022-23 SEASON BEST FIVE / MVP	P15
B.LEAGUE VARIOUS AWARDS	P16
ドットエスティ B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2023 IN MITO	P17
B.LEAGUE HOPE	P18
B.LEAGUE STRENGTHENING TRAINING	P19

MESSAGE

島田慎二チェアマンより皆様へ

この度は多くのファン、パートナー、メディアの皆さまのご支援、ご協力のもと「日本生命B.LEAGUE FINALS 2022-23」「B.LEAGUE AWARDSHOW 2022-23」を経て、B.LEAGUE 7シーズン目を無事終えることが出来ましたこと、心より感謝申し上げます。

2022-23シーズンは、新型コロナウイルス感染症の影響も少し落ち着き、声出し応援の解禁等、B.LEAGUEの日常を少しずつ取り戻してまいりました。「日本生命 B.LEAGUE FINALS 2022-23」においては初めて横浜アリーナで立見席を設け、GAME2には13,657人となる過去最多のお客さまにご来場いただきました。また、各地でアリーナが誕生し盛り上がりを見せました。

2023年8月には、沖縄で「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」も実施されます。B.LEAGUEとしてもバスケットボール界の発展に邁進して参りますので、ぜひ楽しみにしていただければと思います。

2023-24シーズンも引き続き多くの皆さまに、バスケットボールを通して、「ココロ、たぎる。」瞬間をご提供できるよう、クラブ、選手、リーグが一体となってB.LEAGUEはチャレンジし続けてまいります。今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

B.LEAGUE チェアマン 島田慎二



B.LEAGUE 2022-23 SEASON CALENDAR



2022年

6月4日-7月31日	B.LEAGUE U18 REGIONAL LEAGUE 2022 開催
6月20日	B.LEAGUE U18 全選手研修 実施
7月27日-28日	B.LEAGUE 新人選手研修 2022 (オンライン)実施
8月13日-16日	B.LEAGUE U18 CHAMPIONSHIP 2022 開催
9月20日	B.LEAGUE 2022-23 SEASON TIPOFF CONFERENCE 開催
9月29日	B.LEAGUE 2022-23 SEASON 開幕
10月8日-12月18日	B.LEAGUE U18 ELITE6 LEAGUE 2022開催
11月1日	B.LEAGUE U15 /U18 選手・コーチ研修実施

2023年

1月13日	ドットエスティ B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2023 IN MITO 開催 B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2023 IN MITO B.Hope ACTION 「そなえてバスケット supported by 日本郵便」 実施
1月14日	B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2023 IN MITO B.Hope ACTION 「リモートコーチング」 supported by SoftBank 「プロチャレ! (プログラミングチャレンジ) supported by 富士通」 「そなえてバスケット supported by 日本郵便」 クラブ対抗戦「そなえてバスケット杯」開催
2月1日-4月2日	B.LEAGUE U18 INTERNATIONAL CUP 2023 代替大会 開催
2月3日-5日	B.LEAGUE U16 CHALLENGE CUP 2023 開催
2月18日-19日	EASL Champions Week 東アジアスーパーリーグ開催
3月1日-5日	B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2023 開催
3月27日-30日	日本生命 B.LEAGUE FINALS 2022-23 年間優勝 琉球ゴールデンキングス-
5月27日-28日	日本生命 B.LEAGUE FINALS 2022-23 B.Hope ACTION 「Diversity & Inclusion supported by Sateraito Office」 ユニファイドスポーツ®バスケットボールチャレンジ/インクルーシブチェア企画
6月2日	B.LEAGUE AWARD SHOW 2022-23 開催
6月27日	B.LEAGUE U15/ U18 全選手研修 実施

THE NUMBER OF ATTENDANCE

シーズン入場者数に関する記録

		2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22	2022-23
B1	シーズン入場者数	1,500,828	1,564,121	1,662,119	1,144,415	882,440	1,193,713	2,488,846
	年間最多入場者試合	10,144 5/27 B.LEAGUE FINAL 川崎 vs 栃木 (代々木第一)	12,005 5/26 B.LEAGUE FINAL A東京vs千葉 (横浜アリーナ)	12,972 5/11 B.LEAGUE FINAL 千葉 vs A東京 (横浜アリーナ)	9,514 10/3 開幕戦 川崎 vs 宇都宮 (横浜アリーナ)	4,785 6/1 B.LEAGUE FINALS 宇都宮 vs 千葉 (横浜アリーナ)	8,309 5/22 SEMI FINALS 琉球 vs 島根 (沖縄アリーナ)	13,657 5/28 B.LEAGUE FINALS 千葉Jvs琉球 (横浜アリーナ)
	シーズン平均入場者数	2,779	2,897	3,078	3,260 ※23節終了時点	1,554	1,983	3,466
	シーズン最多平均入場者数	4,503 千葉ジェッツ	5,196 千葉ジェッツ	5,204 千葉ジェッツ	5,116 千葉ジェッツ	2,353 川崎ブレイベンサンダース	4,763 琉球ゴールデンキングス	6,823 琉球ゴールデンキングス
	シーズン最多入場者試合	7,327 5/3 千葉vs秋田 (千葉ポートアリーナ)	6,299 5/6 北海道vs新潟 (北海きたえーる)	6,760 4/21 大阪vs京都 (おおきにアリーナ舞洲)	6,472 12/5 大阪vs千葉 (おおきにアリーナ舞洲)	3,901 5/5 琉球 vs 千葉 (沖縄アリーナ)	8,263 5/4 琉球 vs 千葉 (沖縄アリーナ)	9,555 1/8 A東京 vs 川崎 (代々木第一)
B2	シーズン入場者数	646,800	836,804	821,993	569,703	340,582	279,306	560,569
	年間最多入場者試合	4,899 4/30 熊本vs広島 (熊本県立総合体育館)	4,909 5/13 秋田vs熊本 (CNAアリーナ★あきた)	5,041 4/6 茨城vs群馬 (アダストリアみとアリーナ)	4,007 9/29 広島 vs 熊本 (広島サンプラザホール)	2,178 5/16 茨城 vs 仙台 (アダストリアみとアリーナ)	3,329 4/17 仙台 vs 福島 (ゼビオアリーナ)	7,523 5/21 佐賀 vs 長崎 (SAGAアリーナ)
	シーズン平均入場者数	1,198	1,550	1,522	1,407 ※24節終了時点	747	778	1,335
	シーズン最多平均入場者数	2,109 熊本ヴォルターズ	2,897 秋田ノーザンハピネッツ	2,567 仙台89ERS	2,448 仙台89ERS	1,134 仙台89ERS	1,538 仙台89ERS	1,958 長崎ヴェルカ
	シーズン最多入場者試合	4,899 4/30 熊本vs広島 (熊本県立総合体育館)	4,721 3/17 秋田vsFE名古屋 (CNAアリーナ★あきた)	5,041 4/6 茨城vs群馬 (アダストリアみとアリーナ)	4,007 9/29 広島 vs 熊本 (広島サンプラザホール)	2,056 11/22 仙台 vs FE名古屋 (ゼビオアリーナ仙台)	3,329 4/17 仙台 vs 福島 (ゼビオアリーナ)	5,443 4/9 西宮 vs A千葉 (グリーンアリーナ神戸)
B1/B2 OVER-ALL	2,238,359	2,502,931	2,593,217	1,719,191	1,293,393	1,575,908	3,227,531	

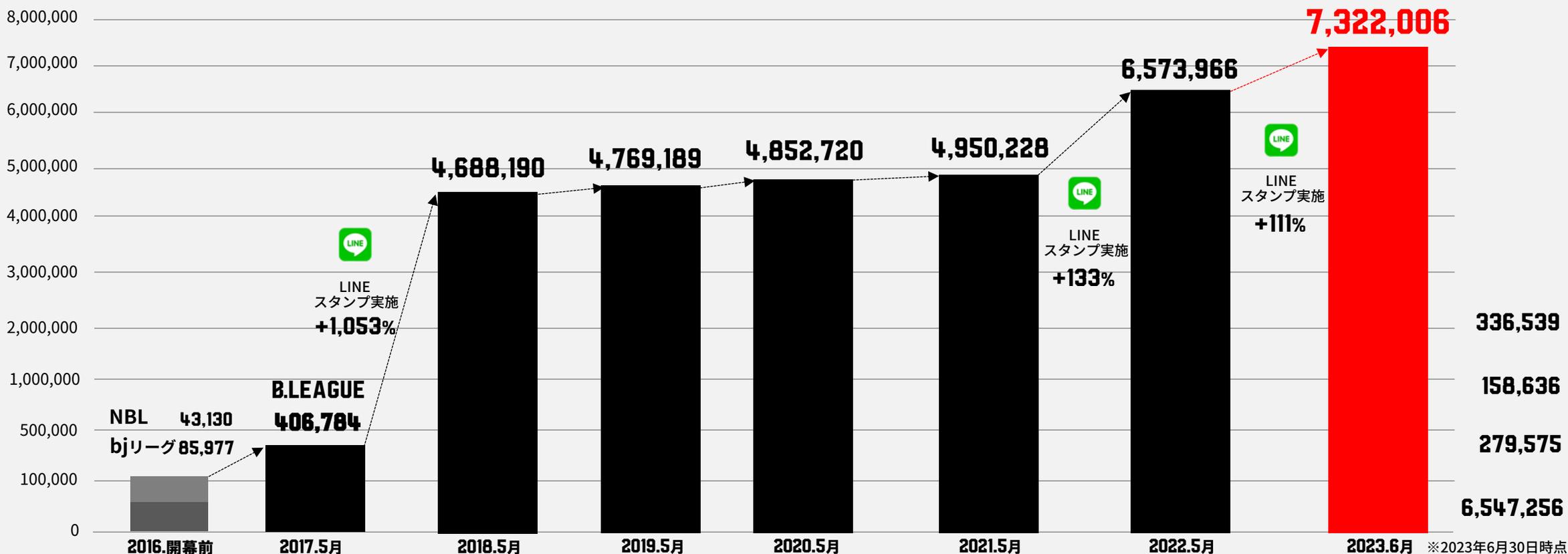
※2019-20 シーズンについては、B1・B2レギュラーシーズン中止開始節 (B1 23節、B2 24節) までの入場者数
 ※2020-21シーズン開幕にあたって原則政府が示す目安である「入場制限付き開催 (50%)」にて開催
 ※2020-21シーズンは B1 20クラブ/B2 16クラブでの開催

※2021-22シーズン途中より、順次「条件付き100%開催」へ移行したクラブあり
 ※2021-22シーズンは B1 22クラブ/B2 14クラブでの開催
 ※2021-22シーズンについては、リーグ戦終了時点の入場者数 (チャンピオンシップ、B2プレーオフを含まず)
 ※2022-23シーズンは B1 24クラブ/B2 14クラブでの開催

B.LEAGUE SNS

リーグSNSフォロワー数 ※対象SNS：Facebook, Twitter, Instagram, LINE

B.LEAGUE SNS フォロワー数 **730** 万人超。



B.LEAGUE CLUB SNS

クラブSNSフォロワー数 ※対象SNS：Facebook, Twitter, Instagram,

B1・B2クラブの合計ファン数は約 **390** 万人突破。昨対比約120%の成長

B1

B2

	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22	2022-23
ファン数	1,436,969	1,660,548	1,871,715	2,214,715	2,699,210	3,260,349
最多合計ファン数	232,497 千葉ジェッツ	250,492 千葉ジェッツ	269,964 千葉ジェッツ	286,316 千葉ジェッツ	312,608 千葉ジェッツ	354,712 千葉ジェッツ
最多Facebookファン数	80,976 千葉ジェッツ	80,347 千葉ジェッツ	79,556 千葉ジェッツ	79,047 千葉ジェッツ	77,897 千葉ジェッツ	77,266 千葉ジェッツ
最多Twitterファン数	134,353 栃木ブレックス	140,817 千葉ジェッツ	149,087 千葉ジェッツ	158,400 琉球 ゴールデンキングス	199,736 琉球 ゴールデンキングス	228,208 琉球 ゴールデンキングス
最多Instagramファン数	18,562 琉球ゴールデンキングス	29,328 千葉ジェッツ	41,321 千葉ジェッツ	53,221 千葉ジェッツ	67,046 千葉ジェッツ	94,516 千葉ジェッツ

	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22	2022-23
ファン数	480,675	495,929	547,320	519,523	565,300	643,005
最多合計ファン数	73,178 秋田ノーザンハピネッツ	53,950 熊本ヴォルターズ	56,589 熊本ヴォルターズ	58,899 熊本ヴォルターズ	66,068 熊本ヴォルターズ	82,183 熊本ヴォルターズ
最多Facebookファン数	17,191 広島ドラゴンフライズ	17,328 広島ドラゴンフライズ	17,386 広島ドラゴンフライズ	17,137 熊本ヴォルターズ	16,772 熊本ヴォルターズ	16,735 熊本ヴォルターズ
最多Twitterファン数	63,419 秋田ノーザンハピネッツ	30,503 熊本ヴォルターズ	32,017 熊本ヴォルターズ	33,608 熊本ヴォルターズ	44,596 ライジングゼファー福岡	52,677 熊本ヴォルターズ
最多Instagramファン数	5,111 ライジングゼファー福岡	6,171 熊本ヴォルターズ	9,240 広島ドラゴンフライズ	9,974 ライジングゼファー福岡	11,893 仙台89ERS	15,158 長崎ヴェルカ

※2023年6月30日時点

B.LEAGUE 2022-23 SEASON B1 RESULT

リーグ戦最終順位表 B1

EASTERN CONFERENCE - 東地区 -

順位	チーム	勝	負
1	 千葉ジェッツ	53	7
2	 アルバルク東京	42	18
3	 宇都宮ブレックス	32	28
4	 秋田ノーザンハピネッツ	29	31
5	 群馬クレインサンダーズ	29	31
6	 茨城ロボッツ	23	37
7	 レバンガ北海道	19	41
8	 仙台89ERS	19	41

CENTRAL CONFERENCE - 中地区 -

順位	チーム	勝	負
1	 川崎ブレイブサンダーズ	40	20
2	 横浜ビー・コルセアーズ	33	27
3	 信州ブレイブウォリアーズ	29	30
4	 サンロッカーズ渋谷	28	32
5	 シーホース三河	27	33
6	 三遠ネオフェニックス	23	37
7	 富山グラウジーズ	15	45
8	 新潟アルビレックスBB	13	47

WESTERN CONFERENCE - 西地区 -

順位	チーム	勝	負
1	 琉球ゴールデンキングス	48	12
2	 島根スサノオマジック	48	12
3	 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	43	17
4	 広島ドラゴンフライズ	41	18
5	 大阪エヴェッサ	27	33
6	 ファイティングイーグルス名古屋	22	38
7	 京都ハンナリーズ	22	38
8	 滋賀レイクス	14	46



B.LEAGUE 2022-23 SEASON B2 RESULT

リーグ戦最終順位表 B2

EASTERN CONFERENCE - 東地区 -

順位	チーム	勝	負
1	 アルティーマリ千葉	47	13
2	 越谷アルファーズ	45	15
3	 西宮ストークス	29	31
4	 福島ファイヤーボンズ	28	32
5	 青森ワッツ	28	32
6	 山形ワイヴァンズ	26	34
7	 アースフレンズ東京Z	14	46

WESTERN CONFERENCE - 西地区 -

順位	チーム	勝	負
1	 佐賀バルーンズ	45	15
2	 長崎ヴェルカ	43	17
3	 熊本ヴォルターズ	35	25
4	 愛媛オレンジバイキングス	26	34
5	 ライジングゼファー福岡	20	40
6	 バンビシャス奈良	18	42
7	 香川ファイブアローズ	16	44



B.LEAGUE 2022-23 SEASON CLUB AWARD クラブ表彰

B.LEAGUE 2022-23 SEASON CHAMPIONS

- B.LEAGUE 年間優勝 -



琉球ゴールデンキングス (西地区1位)

- B2 年間優勝 -



佐賀バルナーズ (西地区1位)

- B.LEAGUE 年間準優勝 -



千葉ジェッツ (東地区1位)

- B2 年間準優勝 -



長崎ヴェルカ (西地区2位)

- B1 地区優勝 -



- 東地区 -

千葉ジェッツ



- 中地区 -

川崎
ブレイブサンダース



- 西地区 -

琉球
ゴールデンキングス

- B2 地区優勝 -



- 東地区 -

アルティール千葉

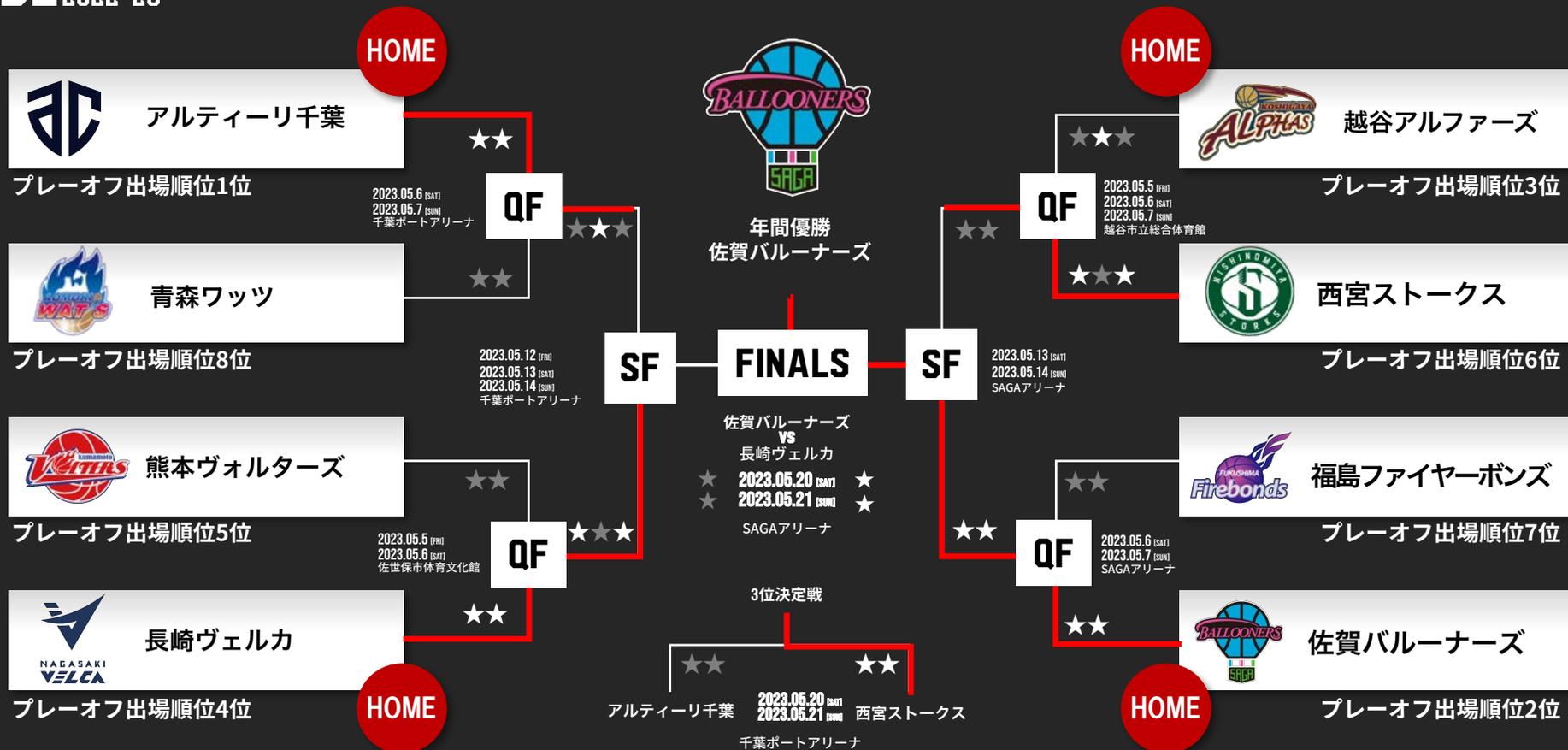


- 西地区 -

佐賀バルナーズ



日本生命 B2 PLAYOFFS 2022-23



B1 LEADERS

B1 リーダーズ表彰

得点王

アシスト王

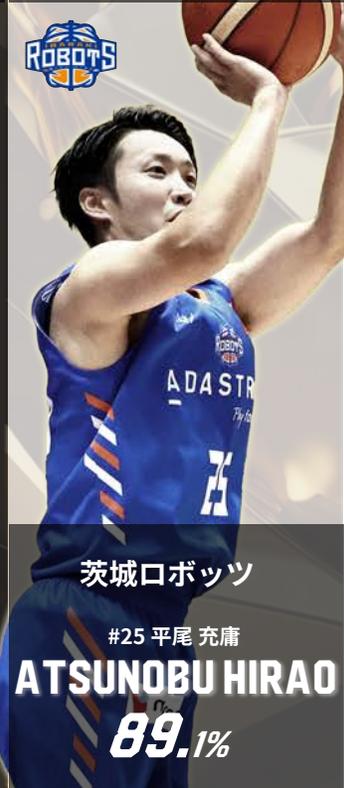
リバウンド王

スティール王

ブロック王

ベスト
3P成功率賞

ベスト
FT成功率賞



B2 LEADERS

B2 リーダーズ表彰

得点王



長崎ヴェルカ

#5 マット・ボンズ

MATT BONDS

22.5

アシスト王



愛媛

オレンジバイキングス

#3 古野 拓巳

TAKUMI FURUNO

7.1

リバウンド王



山形ワイヴァンズ

#40 トーマス・ウェルシュ

THOMAS WELSH

13.0

スティール王



長崎ヴェルカ

#5 マット・ボンズ

MATT BONDS

2.1

ブロック王



西宮ストークス

#15 トレイ・ポーター

TREY PORTER

1.9

ベスト
3P成功率賞



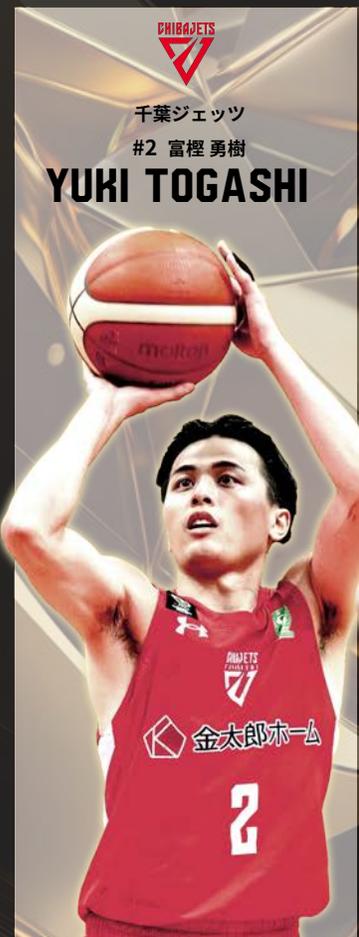
長崎ヴェルカ

#4 狩俣 昌也

MASAYAKARIMATA

40.8%

B.LEAGUE 2022-23 REGULAR SEASON BEST 5 / MVP



B.LEAGUE 2022-23 SEASON VARIOUS AWARD

B1 B2 個人表彰/特別表彰



ベスト6thマン賞



新人賞



ベストディフェンダー賞



ベストタフショット賞 presented by G-SHOCK



最優秀ヘッドコーチ賞



最優秀審判賞



B2レギュラーシーズン最優秀選手賞



ココロ、たぎる。賞



レギュラーシーズン最優秀インプレッシブ選手



マスコットオブザイヤー



ベストパフォーマンスチーム



フェアプレー賞 presented by 日本生命



日本生命チャンピオンシップ最優秀選手賞



日本生命ファイナル賞

バスケットLIVE Presents On Fire大賞 B1クラブ：秋田ノーザンハピネッツ/B1選手：秋田ノーザンハピネッツ #17 中山 拓哉 B2クラブ：熊本ヴォルターズ/B2選手：熊本ヴォルターズ #5 磯野 寛晃
ソーシャルメディア最優秀クラブ：千葉ジェッツ 入場者数No.1クラブ：琉球ゴールデンキングス



開幕初年度のオールスターは、国立代々木競技場第一体育館で実施。約10,000人のファンが駆けつけ大成功をおさめました。

そして、2018年に復興支援を軸に開催された熊本でのオールスターゲームでは、選手達が熊本地震/九州北部豪雨被害にあった地域を訪問し、被災地の方々と触れ合い、オールスターゲームでは大いに会場を盛り上げました。3度目は富山県富山市で開催。4年目は北の大地 北海道札幌市で開催。いずれもたくさんのファンの方々の笑顔を目にすることができました。そして5年目の茨城県水戸市で開催される予定だったオールスターゲームは、チケットについても例年通り即日完売という状況にもかかわらず、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、ONLINE CONTEST企画を実施。2022年も同様に沖縄での開催を予定していたオールスターゲームは新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、2023年になりようやく茨城県水戸市でのリアル開催（2DAYS）が実現。地域創生を目指し、様々な取り組みを実施いたしました。

ココロ、たぎる。水戸

CONTENTS



- B.STYLE FLOOR & OTHER EVENT
- PARTNER ACTIVATION
- B.LEAGUE ALL★ STAR GAME CONTESTS
- B.LEAGUE ASIA RISING ALL★ STAR GAME
- B.LEAGUE U18 ALL★ STAR GAME
- ARTIST LIVE
- ドットエスティB.LEAGUE
- ALL★ STAR GAME 2023 IN MITO
- B.HOPE ACTION



B.LEAGUE HOPE

スポーツリーグとして日本初の社会的責任活動プロジェクト。
ステークホルダーとともにさまざまな社会的責任活動を「B.LEAGUE Hope (B.Hope)」と称し、推進。



B.LEAGUEはの活躍の舞台はアリーナだけではなく。
環境・貧困・ジェンダーなど、直面する社会問題にも取り組みます。
- Off-Court 3Point Challenge - 「People(人類)」 「Peace(平和)」 「Planet(地球)」
の3つの領域で、クラブ・選手・ファン・地域・パートナー企業の方々を巻き込んで
共にSDGsの実現を目指したアクションを推進しています。

2023年	1月13日	B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2023 IN MITO B.Hope ACTION 「そなえてバスケット supported by 日本郵便」 「コンディショニングプログラム supported by 大塚製薬」
	1月14日	B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2023 IN MITO B.Hope ACTION 「リモートコーチング supported by SoftBank」 「プロチャレ！（プログラミングチャレンジ） supported by 富士通」
	2月1日-4月2日	「そなえてバスケット supported by 日本郵便」 クラブ対抗戦「そなえてバスケット杯」
	5月27日-28日	日本生命 B.LEAGUE FINALS 2022-23 B.Hope ACTION 「Diversity & Inclusion supported by Sateraito Office」 ユニファイドスポーツ®バスケットボールチャレンジ/インクルーシブフェア企画



バスケットボールをしながら、楽しく防災知識を学ぼう。
バスケットボールを楽しみながら防災の知識を深められる「ディフェンス・アクション（防災バスケット）」と防災バッグの贈呈を実施。さらに、2023年2月～4月には「そなえてバスケット杯」を開催し、クラブとともに各地域における防災教育を行いました。



競技者の子どもたちへ コンディショニング教育を提供！

コンディショニングを学び、実践するプログラムを地元中学生に提供。オールスター当日は、成果発表とバスケットボールクリニックを実施するとともに、試合会場ボランティアにも参加。



テクノロジーを活用し、 遠隔で指導を実施。

プロ選手のお手本動画を見て練習し、参加者が撮影した動画をAIスマートコーチの骨格解析等を使用して基礎スキルの向上を目指す。予選を勝ち抜きオールスター当日にスキルズチャレンジを実施！



子どものうちに体験することで 将来のイノベーター創出を。

プログラミングを体験する機会を創出。全国の小学生を対象に、プログラミング教室とコンテストを実施。オールスター当日に授賞式も実施！



ダイバーシティ・インクルージョンの 世界観を体現！

障がいの有無に関わらずみんなが輝き、誰ひとり取り残されない社会を目指して、株式会社サテライトオフィス様ご協力のもと実施。障がい児や健常の乳幼児とそのご家族を試合観戦に招待する企画や、知的障がいのある人となない人がバスケのミニゲームを通じて、ダイバーシティ・インクルージョンの世界観を体現しました。



B.LEAGUE STRENGTHENING TRAINING



B.LEAGUEのミッションである「世界に通用する選手やチームの輩出」に向けて、2022-23シーズンは、U15では46クラブ、U18では34クラブのユースチームが活動。また、Bユースにおける育成強化ならびに育成組織とトップチームの連携促進を目的に、自クラブ所属選手を対象にした「ユース育成特別枠」が導入され、北海道U18の内藤耀悠選手を皮切りに、B1/B2クラブでは合計10名のU15/U18選手がトップチームに加わるなど、U15/U18世代の選手育成における新たな道が拓かれたシーズンとなった。

【2022-23シーズンの取り組み】

2022年	6月4日-7月31日	B.LEAGUE U18 REGIONAL LEAGUE 2022 開催 U18全選手研修 実施
	6月20日	
	8月13日-16日	B.LEAGUE U18 CHAMPIONSHIP 2022 開催
	10月8日-12月18日	B.LEAGUE U18 ELITE6 LEAGUE 2022 開催
2023年	11月1日	B.LEAGUE U15/U18選手・コーチ研修 実施
	1月14日	B.LEAGUE U18 ALL-STAR GAME 2023 開催
	2月3日-5日	B.LEAGUE U18 INTERNATIONAL CUP 2023 代替大会 開催
	2月18日-19日	B.LEAGUE U16 CHALLENGE CUP 2023 開催
	3月27日-30日	B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2023 開催
	6月27日	B.LEAGUE U15/U18選手研修 実施

B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2023

6回目の開催となった本大会では、2020年大会ぶりに有観客での実施となり、過去最多の46チームが出場、4日間にわたり予選リーグ、決勝トーナメントを行った。決勝戦は名古屋D U15がJr.WCのリベンジを果たす形で福岡U15との激戦を制し、本大会3連覇を達成した。



B.LEAGUE U18 CHAMPIONSHIP 2022

2回目の開催となった本大会では、出場チーム数が前回大会から18チーム増の34チームとなり、4日間にわたってトーナメントを開催。決勝戦は2年連続同一カードとなったが、激闘の末、終盤の名古屋D U18の反撃を凌いだ北海道U18が見事連覇を達成した。また3位決定戦では琉球U18が横浜BC U18に対し2Qから徐々にリードを広げ、3位入賞を果たした。



ユース育成特別枠

ユース育成特別枠は、Bユースチームへの直近の登録が連続3ヶ月以上あることを条件とし、U15/U18選手がトップチームに加入することが可能。本制度導入初年度となった2022-23シーズンでは、北海道U18の内藤耀悠選手、名古屋D U18の今西優斗選手、横浜BC U18所属の平岡勇人選手、琉球U18の須藤春輝選手がユース育成特別枠を活用してトップチームのコートに立った。



今西優斗選手は2022年12月24日に初出場初得点を記録し、Bリーグ最年少出場記録、得点記録とともに「16歳7ヶ月8日」に更新するなど、上記4選手を含む合計10名のU15/U18選手が本制度を活用して、B1/B2のトップチームに加わり、貴重な経験を積んだ。





B.LEAGUE

THANK YOU FOR ALL

JAPAN PROFESSIONAL BASKETBALL LEAGUE